

2023年度

「青春チャレンジコンテスト」入賞作品

夢や目標に向けチャレンジしたことや、大学生でしかできない体験内容について、応募いただいた5作品が入賞しました。

銀

商学部商学科 田中 涼葉

「人生で一番辛かった二週間」

私は高校時代に、不登校となった友人をうまく支えることができなかった。その後悔と、その時に私を支えてくれた恩師への憧れを胸に、高校教師を目指している。四年次に待ちわびていた教育実習で、覚悟していたはずの現場の厳しさと指導教諭の厳しさに心が折れ、どん底まで落ち込んだ。絶望が続く中、私は教師になんてなれやしないと何度も思ったが、そんな教育実習を乗り越えられたのは、厳しかった指導教諭から頂いた沢山の言葉だった。人生で一番辛かった二週間で学んだ、「言葉で伝える大切さ」。今度は、恩師や指導教諭のように、私も誰かを支えられる先生になりたいと思っている。

銀

国際学部国際学科 K.H

「私の青春」

私は、交換留学でドイツのバイロイト大学に留学した。大学入学後から、交換留学を目標に掲げ、何をすべきか自ら考え行動してきた。コロナ、LEI、オンライン留学、交換留学と今までの私の大学生活には、たくさんの出来事があった。このドイツ留学が初めての海外体験だった私は、右も左もわからなかったが、とにかく挑戦を続けてきた。交換留学という目標達成に向けて主体的に実行してきたことや、ドイツ留学中に経験した出会いや別れ、喜怒哀楽を、率直に自分の言葉で文章に残した。

銅

商学部商学科 榎原 優希

「行動次第で自分は変わる」

短期大学の1、2年から大学へと編入した3、4年の中で成長していく自分を振り返りました。入学当初やりたいことがなかった私は編入し、大きく環境が変わったことによって様々な体験を経験していきます。交響楽団、部活、留学生とのかかわり、アルバイトなどを通し、そばにいてくれた友人とともに少しずつ自信を持つようになりました。これらの経験から本当に叶えたい夢への気持ちに向き合うようになり、夢の実現に向けた行動や挑戦ができるようになりました。これからも叶えたい夢をどんどん実現させていきます。

銅

経営学部経営学科 田中 秀人

「儚くも遠のく刹那」

私が学生時代に経験したこととこれからの人生を生きていく上で重要なこと、感じたことをまとめた。コロナ禍での学生生活、資格取得、就職活動、関西最大規模のイベント主催、様々な経験を通じて、自分を信じることの大切さを実感した。

銅

情報学部情報学科 高田 翔太

「大学生活の中で力を入れたこと」

私が大学生活の中で力を入れたことは、高校での2週間の教育実習だ。教育実習を振り返ると、大きな声で自信を持って話すことの重要性を学んだ瞬間があった。自己紹介での声の小ささから成長し、模擬授業や研究授業では大きな声で自信を持って授業を進めることができた。また、校長先生や教頭先生からの講話や指導を通じて、教育者としての基本姿勢や専門性、実践的指導力を向上させることの重要性を学んだ。信頼関係を築くためには生徒との積極的なコミュニケーションが欠かせず、生徒の個性を尊重し、授業内容を魅力的に伝える工夫も必要だ。この経験と指導から、今後の教育者としての成長に向けての重要な教訓を得た。

ご応募いただきありがとうございました！
皆さんも、大学生活で是非様々なことに
チャレンジしてみてください!!